

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月24日

| 1 基本事項    |  |
|-----------|--|
| 公の施設の名称   | 相模台公園  |
| 指定管理者の名称  | 淵野辺公園グループ運営共同企業体   |
| 指定期間      | 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)   |
| 施設設置条例の名称 | 相模原市都市公園条例   |
| 施設の設置目的   | 公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条)<br>市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として、スポーツの振興及び市民の健康増進を図る。 |
| 施設概要      | 相模台公園(昭和45年供用開始、1.3ha) : 広場、駐車場、<br>近隣公園 スポーツ施設(野球場、テニスコート)                                |
| 施設所管課の名称  | 環境経済局 環境共生部 公園課  |

| 2 管理実績                |           |           |           |           |           |        |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 項目(単位)                | 平成25年度    | 平成26年度    | 平成27年度    | 平成28年度    | 平成29年度    | 平成30年度 |
| 利用者数合計<br>[軟式野球場](人)  | 11,566    | 11,258    | 10,264    | 9,722     | 10,610    |        |
| 利用者数合計<br>[テニスコート](人) | 14,896    | 15,039    | 14,017    | 13,585    | 14,291    |        |
| 利用料金収入(円)             | 3,140,000 | 2,960,000 | 2,902,000 | 3,403,500 | 3,910,400 |        |

| 3 成果指標の達成度 |   |
|------------|---|
| 指標名(単位)    | テニスコート利用件数(件)、 軟式野球場利用件数(件)   |
| 指標式と指標の説明  | 達成度 = 実績件数(又は人数) ÷ 目標件数(又は人数) × 100<br>実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。<br>平成26年度の目標値は、東日本大震災等の影響に鑑み、平成24年度の利用件数(又は人数)を基に設定した。なお、平成27年度以降の目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。 |

| 項目     | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標値(件) | -      | 2,000  | 2,000  | 2,000  | 2,000  |        |
| 実績値(件) | 2,254  | 2,169  | 2,109  | 2,192  | 2,267  |        |
| 達成度(%) | -      | 108.5% | 105.5% | 109.6% | 113.4% |        |
| 目標値(件) | -      | 400    | 400    | 400    | 400    |        |
| 実績値(件) | 442    | 418    | 415    | 414    | 403    |        |
| 達成度(%) | -      | 104.5% | 103.8% | 103.5% | 100.8% |        |

4 評価

| 指標名         | 評価 | コメント  |
|-------------|----|---|
| 施設の設置目的の達成度 | A  | 軟式野球場・テニス場ともに、実績値が目標値を上回っている。テニス場については、天候の影響を受けやすいクレーコートであるが、台風や降雪がありながらも適正な施設管理の成果により、前年同様に高い利用率を維持した。軟式野球場については、利用可能コマ数が増加したものの、実績値は伸びなかった。 |
| 事業・業務の履行状況  | A  | 利用者のニーズに寄り添った施設環境を整えることにより、利用者増加に努めた点や、公園での紙芝居上演など、近隣公園という特色を活かした団体独自の事業を実施したことを評価している。   |
| 利用者満足度の向上度  | A  | 利用者満足度の達成度については、1回目91.2%、2回目94.4%と目標値を上回ったが、調査対象が運動施設利用者に偏りが見受けられたため、調査対象については改善の余地がある。   |
| 財務状況の適正性    | B  | 人件費や光熱水費が増加し、グループ全体で1,000万円の赤字となった。当初見込んでいた事業収入を大きく下回り、収支計画の適正という点で課題が見受けられた。<br><br>この項目はグループ全体の収支状況を評価する。                                   |

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」つき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
  - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

|      |  |
|------|--|
| コメント | <p>・テニスコートについて、ベンチへの葦簀の設置や、適正な施設の維持管理に努めることで、天候不順からの復旧を早急に実施し、利用者満足度調査の個別意見に耳を傾けた。天候に左右されやすいクレートであるにも関わらず、高い実績値となったことは日常的に利用者のニーズに応えてきたことと評価している。</p> <p>・公園での紙芝居上演については、近隣公園という特色を生かした魅力的な事業であると評価できる。今後も、利用者満足度調査の個別意見等を参考に、新たな自主事業の展開についても期待している。</p> |
|------|--|

6 指定管理者選考委員会による評価

|       |   |
|-------|---|
| 評価実施日 | 平成30年7月24日  |
| コメント  | <p>グループ全体として赤字となったが、これまでも専門性やノウハウを活かし積極的な管理運営を展開してきており、利用者サービスの質を維持したまま、いかに業績回復を図るか、指定管理者の手腕に期待したい。</p> <p>この項目はグループ全体について評価する。</p> |